



## 英語の勉強を継続し、将来的には国際的な場で活躍できる人材になれるよう努力していきたい！

### 【学習面】

授業ではリスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能をバランスよく伸ばすことを目的とされていました。最初の頃は授業のスピードに付いていくのが難しく、特にリスニングで苦勞しましたが、ディスカッションに積極的に参加することで、少しずつ相手の話す英語を理解できるようになりました。ライティングの授業でも最初は単純な文章しか書けませんでした。先生のフィードバックを受けながら、何度も書き直すことで文章の質が向上しました。

### 【生活面】

クラスメイトの中には中東や南米、ヨーロッパからの留学生もおり、彼らの宗教、食文化、価値観について話し合うことが出来ました。この経験を通じて、相手の文化を尊重する姿勢や文化の違いを受け入れる大切さを学びました。

カナダの人は非常にフレンドリーで、困っているとすぐに助けてく

れる人が多く、日本とは異なる温かい人間関係を感じましたが、一方で個人主義な側面も強く、自立した生活を求められることも実感しました。

ホームステイ先では、現地の生活様式や価値観についても学びました。ホストファミリーには食事の際に「いただきます」や「ごちそうさま」を言う習慣がないため、よく真似をされることもありました。日本の文化を紹介する機会にもなり、興味を持ってもらえました。

### 【安全面】

カナダは比較的安全な国ですが、注意しなければならないことがいくつかありました。夜遅くに一人で出歩かない、荷物の管理をしっかりするなど、防犯意識を常に持つ必要がありました。

### 【感想】

この留学を通じて、英語力だけでなく精神的な成長も感じる事ができました。特に、自分の意見をしっかり持ち、それを相手に伝える力が向上したと思います。日本ではあまり積極的に発言する機会が少なかったのですが、カナダでは「間違ってもいいから話すこと」が重視されており、この姿勢が身についたことは大きな成果なのではないかと思っています。

また、現地で生活することで、視野が広がり、多様な価値観を受け入れる柔軟性も身につけ、自分の文化を見つめ直すいい機会にもなりました。



**自分で判断する力が以前よりかなり身につきました。これからも自分で考え、行動し、挑戦していきたいです！**

## 【学習面】

リモート授業が週2回、対面授業が週3回でした。リモート授業は、教科書の内容のペアワークが基本で、対面授業は、ディスカッション+Vlog撮影・動画作成でした。

対面授業では、ほとんど毎回小テストがあり、小テストで満点を取るという気持ちが勉強のモチベーションになっていました。

授業終了後は、クラスメイトと一緒に課題を行い、学校で課題を済ませるようにしていました。週末の課題は特に多かったです。

Vlog作成では、休日にダウンタウンのカフェで店員さんから撮影許可をもらい、事前に用意したカフェに関する質問をする動画を作成しました。

## 【生活面】

公共交通機関が予定通り来ないことや、乗客で満席の場合は乗客を増やさないためにバス停に停まらず通り過ぎることも頻繁にあったので、早めに家を出て、予定より早く行動することを意識していました。

ホームステイ先は2家族にお世話になりました。最初のホストフ

ファミリーとは休日に一緒に外出することが多く、夜もリビングで一緒に時間を過ごしていました。2軒目のホストファミリーとは、一緒に外出することはあまりありませんでしたが、食事をする際にコミュニケーションを取ることが多かったです。

ホームステイを経験して、最も慣れなかったことは食事です。2家族ともフィリピンの家庭料理で、基本的に肉がメインで魚を食べる機会がほとんどありませんでした。日本食が恋しくなり、持参したみそ汁やカップ麺、お菓子をよく食べていました。

## 【安全面】

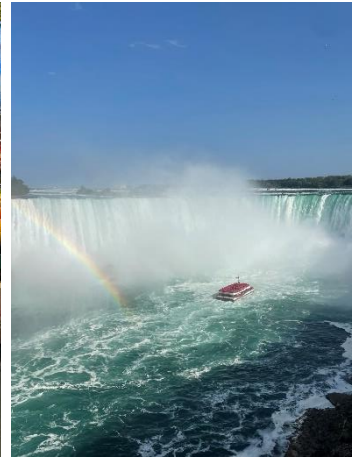
マリファナが身近にあることを感じる場面がありました。人とすれ違った時や人通りの少ない場所でマリファナの残り香が漂っていたことがあり、私にとっては不快な匂いでした。

電車では、乗務員にお金を無心する年配の方が毎回必ずいました。ホームレスのような人も多く、電車内で男性に絡まれた友人もいたので、暗い時間帯に1人で利用しないように心がけていました。

## 【感想】

最初は初めての異国の地で、右も左も分からず、不安が大きかったため心が折れそうでしたが、クラスメイトの中国人の学生に声をかけ、毎日の授業で会話が増え、休日にも一緒に過ごすようになりました。彼女との会話や、授業中の発言回数を増やしたことで、他の学生とのコミュニケーションも広がりました。

周りのサポートがありながらも、自分が思っていた以上に新しい環境で生活していくことができました。留学で身につけた判断能力を活かして、どんなことでも自分で考えて、行動し、挑戦していきたいです。



## 留学を経験して、より多くの国の人と話せるようになりたいと思うようになり、英語学習への意欲も高まりました。

### 【学習面】

最初の2か月はAP5のクラスだった。毎日文法の課題が出て、週末にはリーディングの課題が出ていたが、量は多くなかったため、予習・復習にも時間を当てることができた。クラスでは、分かっているつもりでも深いところまでは理解していない文法が多くあったことに気づくことができ、勉強しなおすことができた。

次のAP6のクラスでは、課題や授業内容のレベルが一気に難しくなったと感じた。外国人のクラスメイトが積極的に話しているのに圧倒され、自分から発言することが減ってしまったのが反省点。専門的な用語が出てきたりしたので、論文を探したり、単語を調べたりするのに苦労した。環境問題や社会問題に関するトピックが取り上げられていたので、英語だけでなく、世界やカナダの問題についても知り、考えることができた。

### 【生活面】

カナダには様々な人がいたが、人種が違っていても差別などはなく、お互いの文化を尊重して暮らしていた。そのため、親切な人が多かった。

私のホームステイ先はホストマザー1人だけだったので、友達のように仲良くなることができ、週末はホストマザーの親戚の家で食事をしたり、買い物に行ったり、湖でカヤックをしたりした。

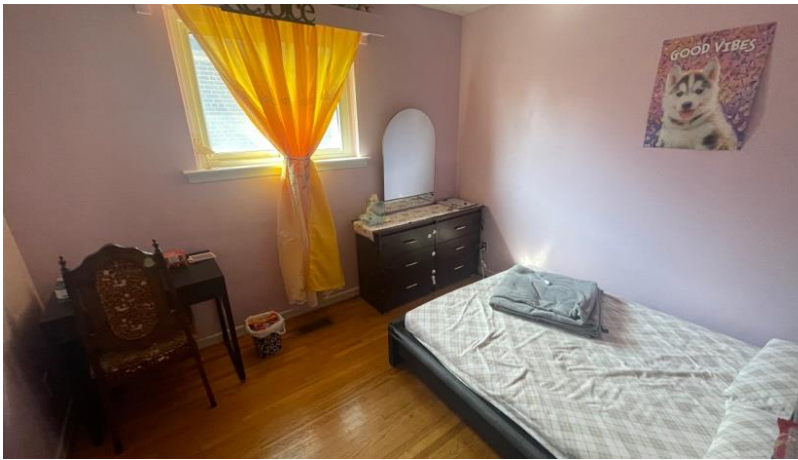
### 【安全面】

荷物を放置しない、夜に1人で行動しない、様子がおかしい人を見かけたら近づかない、ということに注意した。日本と違って、カナダにはホームレスやクスリを使用している人が多いため、夜に出歩かないことを心掛けた。昼に出かける時も、ダウンタウンの周辺にはホームレスの人が多いため、友達と離れないようにした。

### 【感想】

英語だけでなく、人との関わり方や異文化、カナダに住んでいる人々の生活なども学ぶことができた。また、日本の良いところや、日本がどのくらい他の国で知られているかなども知ることができ、日本の良さを再確認するいい機会にもなった。

今までの私は初対面の人と積極的に話をしたり、自分の意見を言ったりすることはなかったが、以前より積極的になったと思う。人と関わることがあまり好きではなかったが、将来的には人と関わりたいと思うようになった。



## 現地での初めての経験、驚き、 学びもたくさんあったが、日本の 良さや不足している点にも気づ くことができました。

### 【学習面】

私が参加したプログラムでは、週6日のうち3日間は対面授業で、2日間はオンライン授業だった。授業時間はクラスによって午前と午後に分かれていて、私は2ターンとも午前授業のクラスだったので、午後は友達と課題をこなし、遊びに出かけたりしていた。

授業内容は、英語の基礎を学ぶ内容がほとんどで Listening, Writing, Reading, Speaking すべての技能を満遍なく学ぶことができた。2週間に1度、授業内で Writing のテストがあり、先生から出されたお題に関する自分の意見や考えを200文字以上で書くというものだった。また、1か月に1回程度、5～10分の個人プレゼンがあったので、それを通して、話し方や質疑応答など Speaking の基礎について学ぶことができた。

授業とは別に、教科書課題や、週2回の Student Reader との会話を行わなければならなかったので課題量は多かったと思う。

### 【生活面】

私のホストファミリーはフィリピン人家族で、小学生の女の子が3人いるとても賑やかな家庭だった。英語を話すチャンスが学校と家の中がほとんどだったので、時間がある時はリビングに行って、ホストマザーと話をしたり、子供たちと一緒に遊んだりしていた。

私が留学した期間は、ちょうど春から夏の終わりの期間だったので、最初の1か月程は長袖に羽織があれば十分だったが、6月中旬から徐々に暑くなっていった。日本と比べて湿度が低いので、日差しは強いが比較的過ごしやすかった。

交通面については、バスと電車が頻繁に通っているので、とても移動しやすかった。1度乗車すると、2時間以内はバスト電車が乗り放題だったので、とても便利だと思った。

### 【安全面】

実際に現地に行って感じたことは、日本よりも断然ホームレスが多いということ。地下鉄に乗れば高確率で遭遇するし、街の方に行けば歩道に座り込んでいる人や、そこで寝泊まりをしている人もたくさんいた。お金を要求してくるので、目を合わせず、近くを通らないように意識した。常に日本ではないということを気に留めて生活しなければならなかったと感じた。

### 【感想】

留学することは簡単ではないけれど、日本では絶対にできない経験ができるし、自分自身の英語に関するモチベーションも上げることができたので、心の底から留学に行ってよかったと感じている。



**もっとも留学してよかったと感じたことは、人々と関わっていく中で、私の中での色々な国のイメージが変わったことです。**

### 【学習面】

SpeakingとWritingの成長を感じることができた。私は、AP7、AP8&9、AP9の3つのクラスを留学中に受けました。

AP7のクラスではSpeakingに重点を置いた授業内容が多かったため、このクラスではSpeaking力の向上を感じました。

AP8&9のクラスでは、Writingに重点を置いた授業だった。エッセイの中で使うことができる文法や、アカデミックな接続の言葉、文章の言い回しなどを学んだ。リサーチペーパーの作成には信頼できる参考資料を探す必要があったため、どのような資料が信頼できるのかという情報リテラシーも学ぶことができました。

AP9のクラスでは、よりアカデミックなエッセイが書けるようになるための授業が多かった。よりフォーマルな文章にするために多くのアドバイスをもらった。クラスの人数が少なかったため、樹朝中に発言できる機会も多かった。

### 【交流】

一つの国に様々な国籍の人が集まるのはカナダの特徴であり、魅力であると考えます。そのため、様々な国の料理を食べることができ、韓国料理、中華料理、リビア料理、メキシコ料理、フィリピン料理などに挑戦した。世界各国の文化に触れるたびに、その国に興味を持ち、そして訪れてみたいと思いました。

カナダでは英語を共通語として使用していても、人によってそれぞれに英語のアクセントがあった。同じ言語を話していても、それぞれの母語の特徴が出てきて魅力的だと感じたが、それにより聞き取れない英語のリスニングが難しいこともありました。

### 【感想】

何をするにも英語を話す必要があったので、生活の中からも英語を学ぶことができました。留学を経て、ためらうことが減り、質問をすることができるようになりました。質問をしたことをきっかけに、新しい友達ができただけでなく、成長することができてよかったと感じています。

いつか海外でまた生活したいと考えているし、様々な国の友達もできたので、友達の国にも訪れたいという夢もできました。

成長や新しい目標ができた留学を経験することができてよかったです。